

# 東京

「其の日」暮らし

＝ドイツ編＝



網戸は自分で貼り付ける??

ドイツの夏は乾燥しているのでとても過ごしやすいのですが、石造りの家の中はじーっとしていると寒くなってくるので今年の夏もやっぱり長袖を着てすごしています。ところが家の中と同じ格好で外に出るともちろん暑い。「着替えに戻るのも面倒だ」と容赦なく照りつける太陽の下腕まくりをした格好で歩いています。たぶん今年もノースリーブを着ることなく夏が過ぎていく気がします。

ここに来て3回目の夏を迎えますが一度も蚊にさされたことがありません。ドイツの人が気軽に庭やバルコニーで食事をしたり、くつろいだりする理由の一つにはきつとヤブ蚊に刺されることがないからではないか? と勝手に考えています。だからなのかこちらの家の窓には「網戸」がないのです。一時期住んでいたゲストハウスにも引越した前の家も今の家もなく友人の家でも見たことがありません。窓を開けるともちろんハエ・小さい蛾・蜂が入ってきます。網戸がないので夜、バルコニーの窓を開けると電灯の明かりを指して虫が入ってきます。幸いなことに最初の家では前住人が寝室とバスルームの窓に網戸を貼り付けて網戸の代わりにしていたのを残してくれていたのですが、網戸の代わりになる物があることが分かり、虫の襲撃におびえることなく窓を全開にして換気することが出来たのですが・・・。他の人は気にならないのか? それとも間接照明はあまり煌々とした明るさではないので入ってこないのか? 人に聞くと「たまに入ってくる」とのこと。気にしている感じがないのです。起きているときはともかく寝ているときに入ってこられるのは困るのでは? と思いました。夜はシャッター（錠戸）を下ろして寝るのでその心配はないらしい。日本では網戸はあっても当たり前という感じがしますが、夏の夜は9時過ぎでも明るいドイツでは網戸よりもシャッターの方が優先度が高いのでしょう。その他にも窓の構造上の違いもあるのでし



両面テープが剥がれてくると、隙間ができてしまいます。



窓はこのように開きます。

ようが、そもそも網戸をはめる溝がないのです。最近網戸らしき物をスーパーで見ました  
がガラスの溝にはめ殺しにして使うようです。我が家で使っている網は、両面テープの片  
側にマジックテープのザリザリした方が付いていて、それを窓枠に貼り付けます。その後  
布状になった網を付け余った部分をはさみやカッターで切る。という簡単な物なのですが、  
ナカナカ上手に貼り付けることが出来ません。しかし目的は「虫を入れない」と言うこと  
なのでそこさえクリアできれば良しとしています。

PUKIPUKI・N

掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。

(株)ファッションビジネス・御堂筋新聞